

各地区活動状況

大阪市 SA ふれあいのつどい開催



7月25日、大阪市SA連絡協議会の会員が大阪市シルバーボランティアセンターに集い、日頃の活動を通じ、努力蓄積された各種技能の交流「ふれあいのつどい」を開催。参加者33名（見学者3名含む）は、本つどいを通じて参加者相互の更なる親睦とボランティア資源の学びの場として、発表の内容は、富田氏の紐を使ったマジック・西澤氏の新聞紙を使ったマジック・橋本氏の南京玉すだれ、腹話術などに続いて、西澤氏のハモニカ・細田氏の手作り玩具などを披露。締め括りは中野氏の指導で全員参加の歌体操を行った。参加者一同和気藹々、有意義なひと時を楽しく過ごしました。

大阪市 SA 北野 忠男

大阪市 SA

伝承手作りおもちゃ研修会開催

毎月、第1金曜日の午後1時より、大阪市SA連絡協議会の会員（手作りおもちゃ部）が大阪市シルバーボランティアセンターに集い、新作の手作りおもちゃの研修会を開催。内容は、主に新作の手作りおもちゃの作り方（材料の調達）など。その他、地域活動に関する情報の交流を行っている。手作りおもちゃに興味のある方、遠慮なくご参加ください。



新作の伝承
ちゃ作り
に
いる
会
員
の



手
作
り
お
も
ち
あ
り
ま
す
方
々

大阪市 SA(北) 谷 幸夫

大阪市 SA 高齢者向き料理教室

大阪市 SA 連絡協議会の六月の月例会として六月二十日(1-3pm)大阪ハービスプラザ四階「エルピュアラ」において高齢者向き料理教室が開催されました。

参加者は二十名、女性十七名と男性三名でした。大阪ハービスプラザの一階入り口に一時に集合ということでしたが、若者向きの大型集合商業ビルのためか集合場所がわかりにくいということで白井さんをはじめ幹事のかたが分かれて出迎えてくれました。おかげで参加者全員時間どおりに集合できました。

料理は畑からの新物便りということで旬の素材を使っの料理でした。

料理は次の三種類でした。グループに分かれ、三種類の料理を作りました。



かぼちゃのそぼろ煮
あじのくるみ味噌焼き
牛肉のしそ巻きフライ

料理の女性講師から料理の作り方を習う一方、料理の器具(レンジ、オープン、グリル等)の説明と使い方を習いました。料理の器具はすべて

環境にやさしい電子・電気エネルギーを使うもので大変クリーンな感じで、知らない内に料理が出来ていた。女性が多く男性の出る幕がなかったというものでした。

使った器具は皆で洗いきちんと片付け最後に皆で三種類の料理を分け合い試食しました。自分らで作ったという満足感のためか皆おいしく味わいました。

帰りは皆で「エルピュアラ」のサービスのコーヒーを味わいました。富田前会長が見つけれられたようで、なんか得した気持ちで帰途につきました。もっともこの料理教室は男性にとっては料理づくりというより、試食の場になったような感もありました。

大阪市 SA(東) 白井 純子

大阪市 SA(南) 『四恩児童館もんじゅ』

において世代間交流

この活動は昨年の7月より南ブロック世代間交流の場として、塚本氏(8期)他、多数の方の協めました。

活動の内容は、住吉区内の四恩学園にて、毎月第の午後1時30分より3時の間。



今回、7月19日(土)小学生・保育園児・保育士(計40名)と世代間交流(手作りおもちゃ)を塚本氏と夏目氏に指導を頂き実施致しました。

SA他参加者は、塚本氏(8期)・夏目氏(10期)・橋本(14期)・木村氏・西山氏・宮垣氏(15期)と北野夫人、増岡氏(老犬)が手作りおもちゃを媒体にして、楽しく、おもちゃ作りや遊びを通じて世代間交流を行いました。そして、参加した児童から、お礼の挨拶がありました。

8月はお休みです。と言うと子ども達はたいへん残念がっていました。ご免ね!

「9月の作品は、塚本氏のお楽しみ?と森氏のブンブンゴマの予定です。」

大阪市 SA(南) 橋本 好子



力で始め

3土曜日

大阪市 SA南ブロック 第1回交流会

6月14日(土)住吉大社の御田植神事(重要無形民俗文化財)を觀賞しました。

参加者は6期の長谷川氏、8期の塚本氏、10期の夏目氏、11期の石田氏、芝村氏、高安氏、13期の北野氏、鈴木氏、松谷氏、14期の松本氏、森氏、橋本、15期の岩城氏、木村氏、西山氏。合計15名の皆様が雨の中を遠方から参加されました。

御田植神事 毎年6月14日 午後1時より 昭和54年2月3日、重要無形民俗文化財指定

住吉の御田植神事は、ただ単に「御田」(おんた)とも呼ばれ、昔は日を定めずに、5月の吉日を選び行われてきたが、明治になり、改暦と共に、6月14日に行われる様になった。

当日は遠近の老若男女、蝗(イナゴ)の害を除くために神符を受ける者が多く、その日僅かでも降雨があると其の年は水利が潤沢であると言伝えられている。

そもその由来は、神功皇后が当社を御鎮祭の時、住吉大神の御神徳により、神饌田を設け、長門国から植女を召されて御田を作らしめたのが、はじめであると伝えられている。祭りに先立ち神館で植女の粉黛式、載盃式があり、第一本宮に於いて五穀豊饒の祭典が行われ、ひき続き御田にて八乙女の田舞・風流武者の行事・棒打ち合戦・住吉踊り・田植踊等が行われます。

次回は、9月28日(第4日曜日)に「平野町ぐるみ博物館」巡りを予定しています。

大阪市 SA(南) 橋本 好子

SA箕面・豊能 琴とふれあい

昨年（14年）の9月から「琴とふれあい」活動をスタートいたしました。高齢者を対象に気軽に参加していたき、琴の弦にふれたり、弾いたり、なつかしい日本の歌を唄いながら、楽しい一時を過ごしていた。最初は1～2 敬老会等からがりはじめて当の配送と併も活動中です。



だこうと呼びかけをスタートいたしました。名程度の参加でしたが最近では高齢者の音楽会や声がかかり出張するなど、次第に活動の輪が広がります。従来から実施している独居老人への弁当の上につけるメッセージ書きは継続して現在

SA 箕面 古川 義

忠

SA 高槻 会議の前に「いきいき歌体操」

会員全員対象の定例会は2ヶ月に1回第2月曜日に実施しています。

8月度定例会は8月11日高槻市民交流センターで開催しましたが、今回から会議の前に活動グループの紹介する事として、歌体操グループの指導で「いきいき歌体操」を体験しました。

大きな声で歌いながらの指体操では、指が思うよう笑いを誘いました。少しの時間でしたが雰囲気を楽しみました。指の運動は脳の刺激になり脳の効果があるそうで、これからも会議の前に続けてらとの声もあります。

今年度は15期生の入会が多く一気に大所帯になり、今までの殻から脱皮して新しいカラーを出していきたいという新メンバーの方々の思いと熱意が感じられます。

お互いを知ることは理解しあう第一歩です。仲間意識の醸成、情報収集の迅速化、会員の資質向上など沢山の課題を一つずつクリアして行きたいものです。

SA 高槻 松 悦子



全員が

に動かず
らげ、リ
の活性化
実施した

会議でも

SA 高槻 ほのぼのサロン食事で

"いきいき歌体操"

03年8月11日(日) SA 高槻いきいき歌体操グループは竹之内コミュニティセンターにおける「ほのぼのサロン食事会」で地域の老人会の皆さん35名と歌体操を楽しみました。



ナツメロ.唱歌.演歌.民謡等楽しいリズムに合わせて、体を動か
かし、大きな
て歌をうたい
て、心も身体
ツシュし、い
か若かりし頃
参加した皆さ
たちのメンバ



声を出し
体操をし
もリフレ
つの間に
に戻り、
んも、私
ーもすっ

きりし、元気を戴きました。

指体操（ももしも亀よ、1.2.3.指の開閉、指数え、グーパー）上肢、下肢、全身
若返り体操、（高原列車、青い山脈、サザエさん、水戸黄門、六甲おろし）

六甲おろしで景気よく勢いをつけ、元気はつらつでした。途中、趣向を変えて、手品で気分転換、修行中ですので、失敗しながらの熱演でしたが、素人ばいところがいいと、中々の好評でした。三味線の伴奏で、熟年の唄「高槻音頭」を歌い、にこやかな笑顔もでて、年を忘れた楽しいひと時でした。適度な運動後、食事は大変おいしく頂きました。終わりに、老人会の方達に、私達が月1回実

施している「いきいき歌体操定例会」への参加をお誘いしました。
どこも男性の参加が少なく残念ですので、男性への参加呼びかけを強化したいと思っています。
SA高槻 松 悦子

SA 高槻 地域の小学生と高齢者との

交流会で「伝承おもちゃ作り」

03年7月29日コープ野村管理組合自治会サロンの集いに、わいわいクラフトグループのメンバー10名が参加し、地域の小学生と高齢者を交えて、懐かしい昔のおもちゃを作りました。

コマ、ガリガリトンボ、風車、ヘリコプター、ハネガエル、牛乳パックの屋形船等を作りました。高学年が多かったせいか、ほとんどの子どもが全部作り上げ、我が家へのおみやげが沢山出来て嬉しそうでした。

やはり、動きのあるおもちゃは人気ものです。作って楽しんで、遊んで楽しむ二度楽しめることになります。

世間には、精巧なおもちゃが出回り、自分で作ることが少なくなった昨今ですが、自分で作ったおもちゃで遊ぶことは、意味のあるいい機会だったと思います。

子どもたちに、大きな声で、「おじいちゃん、おばあちゃん、有難う」と御礼の言葉を貰い、忘れていた年を思い出しました。

おもちゃ
楽しいひ
ね。

参加者
宇津木、
松、三原、



作りをしていると、気持ちはいつも童心です。
と時を有難うとこちらが云わなくてはなりません

(わいわいクラフトグループ)
平松、坂根、本田、松田、相馬、雉子谷、浅野、

SA 高槻 松 悦子

SA 茨木 「みんな集まれボランティア」

平成15年4月29日(火)茨木市役所北グランドにおいて茨木市ボランティア連絡会の主催で「みんな集まれボランティア」のイベントが行われSA茨木28名、SAとよなか、SA吹田、SA高槻各1名が「手作りおもちゃ作り」コーナーなどに参加しました。



みどりの日に相応しい晴天に恵まれ、大型テントで「手作りおもちゃ作り」コーナーで子どもたち(約300名)と「ストローとんぼ」「ガリガリプロペラ」「鯉のぼり」「回し鯉」「手鞠ゴマ」を作り、子どもたちは作ったおもちゃを回しながらグランドを駆け廻っていました。また公園中央舞台SA茨木会員等がハーモニカの合奏でイベントを盛り上げました。

SA 茨木 三田 進一

SA 茨木 茨木市青少年野外活動センターで

手作りおもちゃづくり

平成15年5月3日(土)～5日(月)

茨木市青少年野外活動センター主催の「春のキャンプ・フェスティバル」が同センターで行われ、SAからは3日間合計で42名が参加しました。

(SA茨木32名、SA吹田4名、SA高槻1名、SA北河内支部2名、摂津市在住SA修了者2名、島本町在住SA修了者1名)

五月晴れの連休3日間、延べ450名(3日200名、4日150名、5日50名)の親子連れと一

緒に「ストローとんぼ」「回し鯉」「登り鯉」「風車」「がりがりプロペラ」「跳ね蛙」「手鞠ごま」「篠竹笛」を作った。子どもたちが出来たおもちゃを回しながら林間を楽しそうに駆けるのを見て、一時間近くバスに揺られて来て良かったと感じました。

SA 茨木 三田 進一

SA 茨木 「茨木フェスティバル」に参加

平成 15 年 7 月 26 日(土)～27 日(日)

茨木の夏の一大イベント「茨木フェステル」

が2日間に亘り茨木市中央公園南グランドで華やかに開催されました。今年の参加テーマは手づくりおもちゃと歌体操を通じて市民との交流であり、SA 会員が2日間で 55 名参加しました。

子ども
余の子ど
て作って
おもち
の材料約
し慌てて
テージで
両日共ト
した。暑



張った参加者 55 名(会員の 60%強)の熱き心が、子どもや市民との交流を深め、SA 茨木の名を大きくアピールすることができたと確信しています。

SA 茨木 三田 進一



交通渋滞のひどい町とのイメージがあるだけで、なんとしても一度は訪れてみたいと思う人はあまりないと思います。

SA 連絡協議会からは参加定員 30 人中なんと出席者が 10 人、しかし申し込みはしたが抽選にもれた方も数人おられた、岬町に興味を持ってくれたことに感謝します。

大阪府はいまだに、行政・経済・教育・スポーツ娯楽の面で、北高南低の地域間格差は解消されていません。関西空港が出来ればとの期待も空しく、デフレ不況の影響で、周辺開発も遅々として進んでいない状態です。

しかし、今回参加された方々には、府下で随一海と山の自然が残っている素晴らしい町であることが、特にクルージングを通じて実感し



SA 泉州

!!ようこそ岬町へ!!

冷夏にみまわれた今年の日本列島でしたが、この日(8月6日)ばかりは大阪湾マリンスクール開催にふさわしく、真夏の太陽が照りつける絶好の海洋日和でした。

特に堺以北の府民の方々には、岬町は遠くて



ていただけだと思います。

そして今回訪問していただいた水試験場と海洋

センターのほかに、ヨットハーバー・国際ビーチバレー場などがあり、近代的な施設と自然とがほどよくマッチした景観は見事なものといえようがありません。

また、町なかには旧跡名所が沢山あり、なかでも宇度墓古墳は堺の仁徳天皇の御陵に匹敵するだけのもの。この他にも古い伝えのある神社仏閣などがあり、訪れる人達を楽しませている。

近くには関西国際交流センターもあり、世界の人達との交流も、ホームステイを中心に活発だし、毎年8月初旬にはビーチバレー世界女子選手権大会があり、世界のトップレベルが賞金1千800万円を競う試合は迫力満点、応援の後のビールは応えられない。

最後になりましたが、今回のマリンスクールに参加いただきました皆様には心よりお礼申し上げます。更に来年はSA連協で自然散策かビーチバレー観戦ツアーを企画していただければ、各地域との相互理解も深まるし、地域間格差の解消にも一役買ってもらえるものと思います。

SA泉州 田中 孝之

SA 吹田

藤白台小学校チャレンジタイム 2003年 (手作りおもちゃ)で参加して

今年で4回目(毎年5月~6月)の取り組み。対象は4~6年生でおもちゃ作りの好きな子どもたちです。

昨年度は、8~10期の先輩からの引き継ぎで見習いとしての参加でしたが、今年からSA吹田としての取り組みとなり、おもちゃ作りの大御所の増山さんたちを加えての13期、14期生での新しいスタートでした。

5月21日の開校式では、校長先生から「学校の教師以外の地域の皆さんからの学びを知ってほしい」との挨拶がありました。テーマは『育てよう・高めよう・学ぶ力を』5/21、5/28、6/4、6/11の4回の参加。子どもたちは各班5名、6班編成の30名でした。

5月21日 UFO

フィルムケースの中心に心棒(割り箸、爪楊枝でつくる)を通し、芯棒にタコ糸を巻きつけて、牛乳パックでつくった羽根を飛ばします。

羽根に色を塗るなかで子どもたちそれぞれの個性豊かな創造力が生かされます。みんな熱中していたので時間を忘れてしまいました。

5月28日 風車小屋

牛乳パックそのままに屋根をつけ窓を開け、小屋を作ります。次に小屋の中ほどより少し上にストローの芯棒を通し、タコ糸を巻きつけます。

そして厚紙で作った羽根をストローの先にボンドでしっかりとめてでき上がり。タコ糸を引っ張ると、風車がくるくるとまわります。これも時間いっぱいだけの作業でした。

6月4日 割り箸テッポウ

割り箸2膳と輪ゴム8本。道具はペンチ、小刀、やすりなど。テッポウの形にして輪ゴムでとめて銃身と銃座を作ります。思ったより簡単で時間も少なく早く出来上がりました。時間の余裕があってフィルムケースに孔をあけ、たこ糸を通して引っ張ると、引っ張り方でマジックのように途中で止まり、また端からスルスルとすべっていったり・・・ああ楽しいこと。

6月11日 おさるのたいこ

まず牛乳パックの底を切り取り型紙に合わせておさるの本体を作っていきます。袖の部分にビールの王冠を向かい合わせに貼り付けます。顔の部分はおさるでも、アンパンマンでも好きなものを書いてくださいというリーダーの声に、わっと一斉に喚声があがり、想像力たくましく、いろんな顔ができて上がりました。私たち一同すっかり感心させられました。最後の日であって作品も手早く出来上がり、もう少し余っている時間で竹トンボを作りました。材料は10cmの竹串と、羽根は牛乳パック。すごく飛びます。本当に楽しい一刻でした。

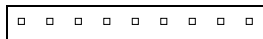
私の感想

資源の利用で、牛乳パックは子どもたち持参で、べて準備されて、たいへんご苦労でしたが、子どもの輝く目、笑顔に私たちも元気をもらって満足感



他はずもたちっぱい

でした。最後にこちらから、また来年もおもちゃつくりうねといったとき、6年生の子が「来年は会えないよ」とポツンと・・・え！！「中学生だもん」その声に中学生になる期待を見たように感じました。この出会いを明日からのエネルギーにしたいと思います。4回を無事に終了できて子どもたちに感謝しました。学校の先生、そしてPTAのみなさんご協力ありがとうございました。



5年2組 中島 正晴

ぼくのチャレンジコーナーは、手作りおもちゃです。

1回目、ユーホーを作りました。2回目、風車小屋、3回目わりばしてっぽうとおちないフィルムケース、4回目おさるのたいこと竹とんぼを作り合計7種類。一番風車小屋がおもしろかった。おさるの太こで顔を適当に書いたらおもしろい顔になった。竹とんぼもおもしろかった。ユーホーはもう失くなくなってしまった。すごく楽しかった。ありがとうございます。

6年2組 谷口 敏貴

手作りおもちゃを教えてくれたボランティアの人たちは、みんなやさしい人たちばかりでした。作った物は、おもしろい物ばかりでしたが、展覧会までになくしてしまっただけでは困るので大事におきました。展覧会が終わったら使います。もっといろんな物を作ってみたかったです。いろいろ教えてくれてありがとうございます。

6年3組 堀江 佑規

手作りおもちゃコーナーの人へ

毎週毎週材料を作って用意してくれてありがとうございます。

30人分ぐらいの材料を作ったりおもちゃを考えたりせっけい図などを作ってくれて本当にありがとうございます。また今度、家で作っている人におしえてあげたいです。

SA 吹田 橘 ユミ子

SA 吹田

第3回あいほうぶまつり

支援活動に参加して

去る9月6日(土)残暑厳しい午後の一時、**障害者支援交流センターあいほうぶ吹田**において第3回夏祭りが催されました。

SA吹田班と15期ドリームネット班の有志14名による食品、厚生授産品の販売活動、またゲームコーナー、おもちゃ作りなどを分担しました。

当日は小雨降るなか午後2時に集合して、当センター係員による役割分担の説明を受けた後会場設営を手伝い午後4時いよいよ開会宣言がされました。雨はすっかり上がり強い日がさしはじめていました。

最初にボランティア支援の太鼓が勇ましく鳴り響き、障害者とその家族を激励し開幕。各模擬店にもたくさんの方が並ぶほどの盛況振りでした。我々SAも各自の持ち場に散り、綿菓子、輪投げ、袋釣り、喫茶、障害者の手作りのクッキー、染物Tシャツ、ハンカチ、うちわの販売や、おもちゃコーナーでは子供たちと共同で作業し出来具合によって一喜一憂しながら喜びを共有しました。

広場では観客も入った盆踊りや、古江台中学OBによるソーラン節が若いエネルギーを発散してダイナミックに舞い、多くの方々の大喝采を受け障害者も踊りの輪に入り若者同士の交流が促進されました。我々SAも飲み物も摂る時間がないほど忙しくそれぞれの持ち場で参加者との交流を深めることができ、充実した時間を過ごし7時過ぎ無事終了しました。

事故もなく興奮と満足で土産に解散しました。感謝！！

SA 吹田 新地 秀生(15期)

堺 SA

「活動報告」

堺シルバーアドバイザー連絡協議会は、平成13年8月からその年度の「泉州地域SA現役受講者」と、「堺SA会員メンバー」の交流会を推進してきました。

交流会実施の時期を8月とし、今年で3年目を迎えました。

現役受講者・SA会員メンバー交流会の狙いは、

現役受講者の「夏休み期間の課題研究」をささやかながらサポートすることです。

交流会場は、特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者授産施設などを選定し、施設見学を兼ねて交流実施することにあります。

今年は8月14日、介護老人保健施設ソルヴィラージュ（堺市北野田）において実施しました。同施設は、堺SA会員10数名が、長年にわたってボランティア活動を行っている施設の一つで、信



頼関係を培ってきました。

施設側から「施設の説明」「見学案内」「ボランティアの受入と活動状況の説明」「特養・老健の違い」等、業務多忙にも拘らず事務長以下6名の職員の皆さんから熱烈に、説明・案内に協力をして頂きました。

見学行事終了後は、提供していただいた会議室において、堺SA会員・現役受講者合わせて20数名が、和やかに1時間余り、色々の観点での意見交換を行いました。現役受講者各

位には、大いに参考にして頂けたことと思います。大阪府シルバーアドバイザーとして、活躍されることを期待しております。

堺SA 中野 貴藏

SA とよなか 孫たちに語り伝える

わたしの《終戦 その日のこと》

「戦争体験」語り部活動これからが本番

この時期に戦争体験をなんとしても次世代、あるいは次々世代に伝えたいと考えたのには次の背景がある。

1. SA会員としての思い

太平洋戦争は風化の一途にあるしかも戦争体験者の高齢化は進んでいく

会員の大半が貴重な戦争体験者である

自分の体験を公開する機会に恵まれない

昨今の国際情勢やわが国の動向に危機感

2. 小中学校の「総合的な学習の時間」支援

SAも「総合学習」に貢献するべきだ

孫年代との世代間交流は双方に有益

3. 会員の福祉活動も高齢者から青少年へと拡大しつつある

こんなことから、「SAとよなか」の仲間

に呼びかけたのが昨年12月、成算のないまま『この指とまれ』のサークル立上げだった。

まず冊子の企画は思うに任せなかった。

1. 執筆者数 目算50名 実際22名

その理由は「戦争体験を今さら思い出したくない」「60歳代前半は戦争体験がない」との人が相当数いたことだ。

2. 文章量 ひとり1ページ 2.6ページ

書き出したら止まらない

伝えたいことがいくらでもある？

3. 写真が手に入らない 写真掲載は断念

提供者は学童疎開の集合写真2名のみ

この時期は「真空の時代」という者も

予定した「終戦記念日」直前には、56ページの冊子はできあがった。しかし、市教育委員会が全校配布に応じてくれないという誤算が生じた。

やむなくマスコミを活用する作戦に転じて、朝日・毎日などに取り上げてもらえたのは幸いであった。世間の関心の深さを体感できた。

お陰で発行した300部もほとんど底をついた。

「語り部活動できます」と小中学校に対する呼び水としての冊子をきっかけに、早くも市内の中学校から「語り部」要請がきている。

「戦争体験語り部」は『SAとよなか』12番目に立上げたサークルであり、今後とも地道で息の長い活動をめざしている。

SAとよなか 島村 俊行(13期地活)

SA 富田林

会員9名ですが全力投球で頑張っています。毎月・第2木曜日10時~12時は定例会各々の活動を報告し合い、情報交換をします。学ぶ事の多い貴重な出会いの場です。

04年1月8日のSA地区活動発表会、河内長野ノでは、生きがいを見つけたみんなが発表させて頂きどのように活動を展開させているのか、成果は? 幅広いボランティア報告をご期待下さい。

SA 富田林 小田 まち子



パティ会場
ます。

地域を越えた広域活動

「変り行く大阪港での発見」

9月9日(火)「変り行く大阪港での発見」を大阪港周辺で開催。1)活動目的は今後の活動への体験作り。2)対象者は14期福祉グループの集り。3)結果 22参加(会員37名、自由参加、費用は自己負担)。

1. 大阪税関の見学

税関の役割とは何か。諸外国との取引に重要な位置をしめている。

A 物品に対し税金を課する。B 輸出入の統計で日本経済の動向を指針。C 麻薬及び密輸品の検査。D 本国にそぐわない動きへの対応。E 展示品の移り変わり。F ビデオ鑑賞など

事前に予約すると担当者のお話が聞ける。

2. 天保山登頂

日本一低い山4.5mです。公園内には築港を開発された先覚者の銅像がある。又花見の名所として天保時代の壁画は一見の価値がある。近くの山小屋にて登山証明書を発行している。去る9月現在4,468通発行(1通10円)

3. 大阪港湾一周の旅

大阪市の広報船「夢咲号」を予約しましたので、

貸切にて約60分天保山港発着で乗船です。開けゆく大阪は海から始まり海の流が絶えぬ限り発展していくでしょう。埋め立てられ作られた島

が三つあり、それぞれ連絡を橋、鉄道及び舟などで結ぶ工事が完成(一部建設中)して往来が便利です。コンテナ基地や西日本一高いWTCやATCビル等を海から眺めますと格別の味わいがあります。

4. まとめ

今回は大阪府下に居住のメンバーが主で、身近な所にある大阪港の周辺の様子を知って頂き大変

良かったと思います(私は幹事役で、地元に住んでいます)。

1、3については事前の予約が必要です。

乗船料は団体(48名まで)で一万円です。大阪港駅(地下鉄中央線)は交通の便が良く、天保山の渡し舟を利用してJR桜島駅も約15分程で行けます。海遊館隣のマーケットプレス内にて大阪名物「くいだおれ横丁」があって食事も楽しめます。大阪の良い所を大人、小人、特に老人は余り歩かずにめぐれます。

以上

大阪市 SA 宮下 健二

=====
会員が地域で作成されているホームページを紹介します。ご覧になって下さい。

SA 北河内友愛会 (担当者山添氏)

<http://sayuuaikai.hp.infoseek.co.jp>

SA いけだ (重松氏)

<http://www.wombat.zaq.ne.jp/rainbow>

**会員の皆様にホームページを持っていて公開していただける方は是非お知らせください。
順次会報に掲載致します。**

=====